

のびのびだよい

～南小のびのびルーム「読み聞かせ」～

2月5日(水)14:40～15:30 @南小内教室

No.15

「ビッグ ハングリー ベアー！」…教室に入るやいなや聞こえてきたのは大きな叫び声と、子どもたちの大笑い。この日伺った南小のびのびルームでは、「てんとう虫の会」さんによる読み聞かせが行われていました。

まずは「素話」でスタート。小道具無し、身振り手振りだけで物語を進める素話ですが、まるで目の前で動物たちが動いているかのような表現力で、子どもたちをお話の世界に引き込みます。そこからも手遊び、巨大絵本、エプロンシアターと、様々な手法で子どもたちを飽きさせません。最後は簡単紙工作。今日のお土産に、みんなでひな人形を作ります。充実の50分間があっという間に過ぎていきました。



印象的だったのは、南小のびのびスタッフさんの様子です。読み聞かせでは、率先して大きな反応を見せることで子どもたちを盛り上げ、盛り上がりすぎて収束がつかなくなりそうな時は注意し、教室がスムーズに進行するように、下支えしておられました。“講師によるプロの技”と“地域スタッフの見守り”…その2つが合わさったほのぼのと素敵な南小のびのびルームでした。

作成：放課後こども教室推進事業運営委員会事務局(柏原市教育委員会 社会教育課)

※各教室の取り組みを市内全域で共有し、本事業の活性化を図ることを目的として、見学の記録を作成し、送信しております。

※読み聞かせボランティア「てんとう虫の会」さんは、市内全のびのびルームに出張可能。詳しくは、出張ボランティアプログラムNo.3をご覧ください。